

第九十日目

師 範：サンフランシスコ平和条約に参加しなかったソ連とは、戦争状態が続いている状態でした。



国際連合に参加したいと願っていても、拒否権をもつソ連の支持が得られないと、実現できません。そこで、ソ連との交渉が始まりました。

今すぐは無理だが、将来に平和条約を結ぶ約束をして、そのときに領土問題を決めることにし、日ソ共同宣言にまとめることになりました。

日本の国連加盟に賛成する約束ができたので、日本は国際連合に加盟できました。念願の国際政治への復帰でした。

1956年 日ソ共同宣言が出て日本は国連に加盟する。

この年を覚えましょう。

ペン太：それでは



「日本は20世紀の中ごろに国連加盟」

「ごろ」は56です。「20世紀の中」ということでおよその年次がわかりますから。

コン太：では、簡単に



「日本は国連に行くころだ」

「いく」は19,「ころ」は56ですね。

師 範：少し直して

「国連へ 行くころになった 日本も」

1956年10月に日ソ共同宣言。12月に国連加盟ですから、日本のせっぱつまった感じがうかがえますね。